

多様な教育課題に対応した

指導計画作成に関する資料説明会

**多様な教育課題に対応した**

**カリキュラムモデル作成の趣旨について**

平成27年8月3、5日

東京都教職員研修センター研修部教育開発課

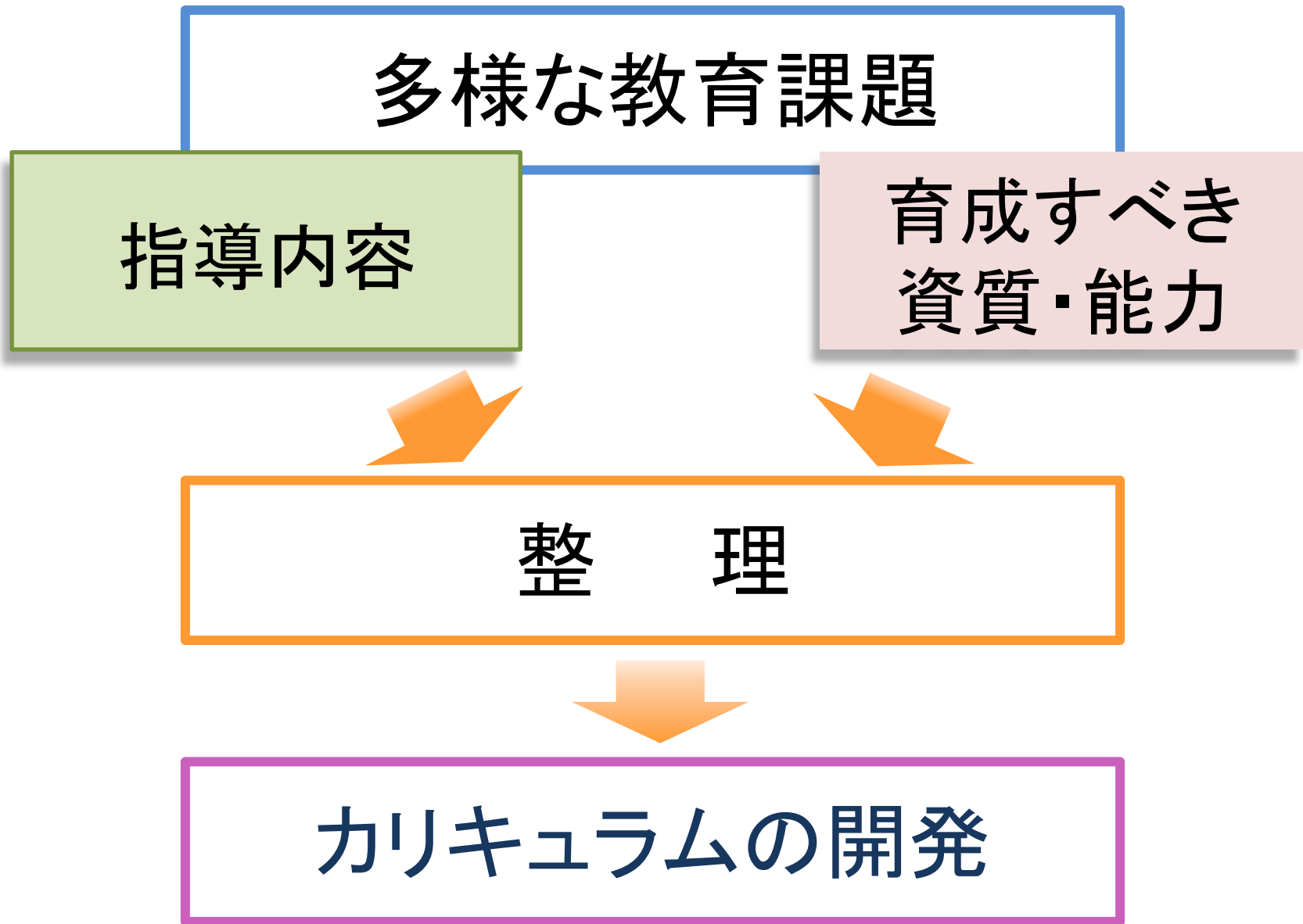
多様な教育課題

指導内容

育成すべき  
資質・能力

整理

カリキュラムの開発



## シティズンシップ教育

個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わろうとする資質を養う教育

## 法教育

法やルールの背景にある価値観や司法制度の機能、意義を考える型の教育であること、社会に参加することの重要性を意識付ける社会参加型の教育

## 消費者教育

消費者市民社会の形成に参画することの重要性について理解及び関心を深めるための教育を含む)これに準ずる啓発活動

## シティズンシップ教育

個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に関与して社会に貢献する資質を養う教育

## 共通性や関連性

法やルールの背景にある価値観や司法制度の機能、意義を考える型の教育であること、社会に参加することの重要性を意識付ける社会参加型の教育

## 消費者教育

消費者市民社会の形成に参画することの重要性について理解及び関心を深めるための教育を含む)これに準ずる啓発活動

シティズンシップ教育

法教育

主権者教育

住教育

キャリア教育

消費者教育

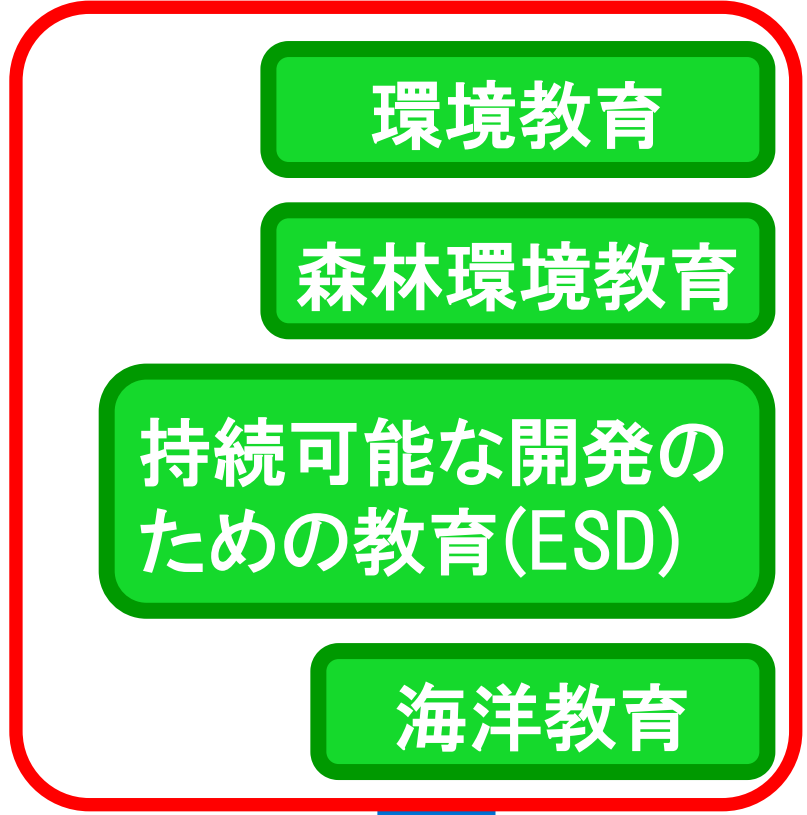
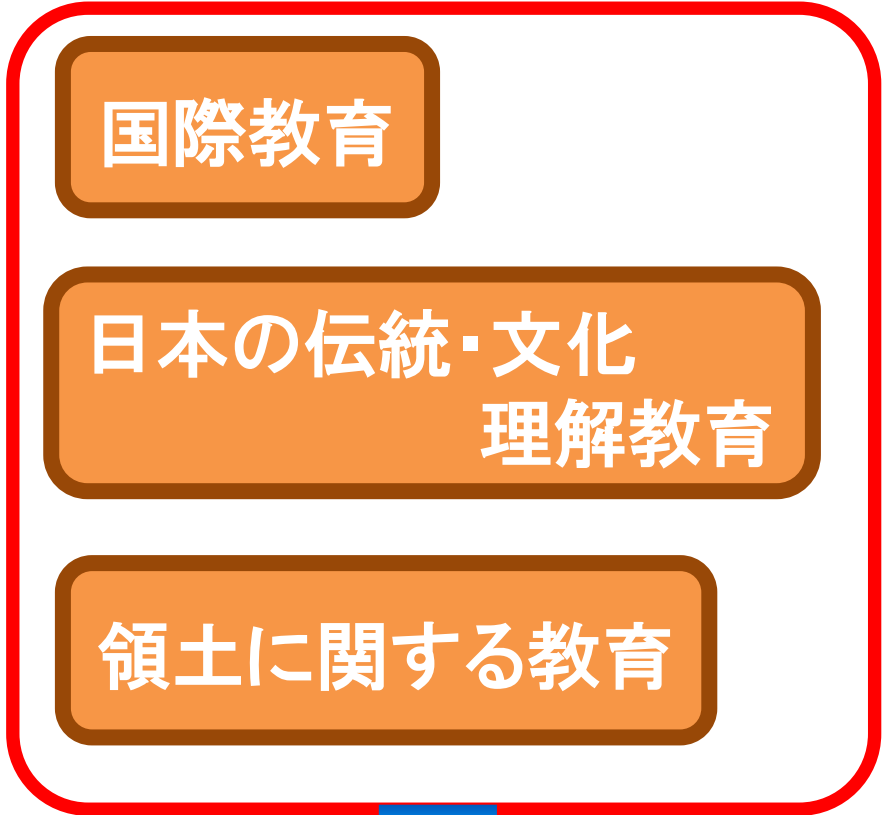
金融・金銭教育

租税教育

### 「カリキュラム市民」のねらい

- 市民・消費者の権利と役割の理解、市民としての消費行動やキャリア形成ができる能力の育成
- 主権者として権利の享受や責任・義務の履行、公的な事柄への関心や関与をもち社会参加に必要な資質・能力の育成
- 自分の行動と社会経済との関連を意識し、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を育成

教育課題の指導内容による整理・分類



多様な教育課題

整理

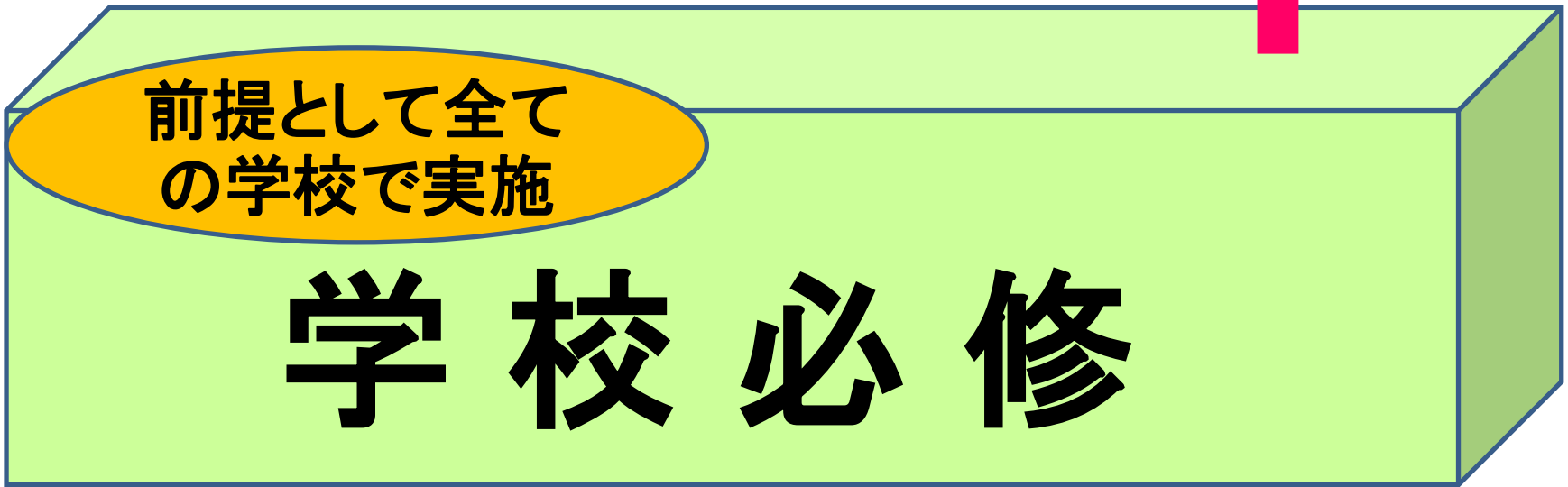
カリキュラム  
市民

カリキュラム  
国際

カリキュラム  
環境



各教科等の年間指導計画の作成





- ・想定していなかった事態や困難
- ・これまで経験したことのない新たな課題

## 社会を生き抜く力の養成

自立      多様性の尊重      幅広い知識  
柔軟な思考力      主体的に課題解決  
他者とのコミュニケーション      協働

教育課題の定義や目標から**重点的**  
に育成される資質・能力を確認

教育課題の  
指導内容

国の提言や  
調査研究

資質・能力の分析・具体化

教育課題	教育課題の指導で重点的に育成できる資質・能力
シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"><li>○多様な価値観や文化で構成される社会において、自己を守り、自己実現を図ることができる力</li><li>○よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、個人としての権利や義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わるために必要な能力</li><li>○自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に理解・判断する力 等</li></ul>

教育課題	教育課題の指導で重点的に育成できる資質・能力
法教育	<ul style="list-style-type: none"><li>○自由で公正な社会の運営に参加するために必要な資質や能力</li><li>○法を主体的に利用できる力</li><li>○解決すべき法的問題について情報を収集する力</li><li>○相手の意見も尊重し、自分の意見を修正しながら合意形成していく力 等</li></ul>

教育課題	教育課題の指導で重点的に育成できる資質・能力
消費者教育	<ul style="list-style-type: none"><li>○消費行動が環境や経済に与える影響を考える力</li><li>○消費者問題や社会問題に関心を持ち、公正・公平な社会の形成について考える力</li><li>○購入する物の選択の方法、購入の方法やよりよい契約の方法を考える力</li><li>○買い物や貯蓄を計画的に行う態度 等</li></ul>

教育課題	教育課題の指導で重点的に育成される資質・能力
国際教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広い視野をもち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力</li> <li>○国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる力</li> <li>○国際社会の理解</li> <li>○地球的規模に立った見方や考え方 等</li> <li>○主体的に行動できる力 等</li> </ul>

教育課題	教育課題の指導で重点的に育成される資質・能力
環境教育	<ul style="list-style-type: none"><li>○持続可能な社会を築くために必要な能力や態度</li><li>○環境保全に対する意欲・関心・態度</li><li>○自然環境をはぐくみ、これを維持管理することの重要性に関する知識</li><li>○環境に働きかける実践力 等</li></ul>

よりよい社会の実現に寄与するために、個人としての権利や義務を行使し、多様な関係者と積極的に関わるために必要な能力

自由で公正な社会の運営に参加するために必要な資質や能力

社会問題に関心をもち、公正・公平な社会の形成について考える力

国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる力

持続可能な社会を築くために必要な能力や態度



○ 社会に参画する力

○ 持続可能な社会の実現に向けた実践力

○ 問題発見・解決力

○ 対人関係力

○ 人間関係形成力

○ 他者と協働する力

○ 規範意識

○ 社会に参画する力

○ 生命を大切にできる力

○ 新たな価値を創造する力

○ グローバル化に対応する力

○ 学びに向かう力



## 四つの要素と12の資質・能力

### 自主・自律

- 学びに向かう力
- 問題発見・解決力
- 生活をよりよくしていく力

### 社会参画

- 規範意識
- 社会に参画する力
- グローバル化に対応する力

### 人間関係

- 対人関係能力
- 人間関係形成力
- 他者と協働する力

### 未来の創造

- 生命を大切にする力
- 新たな価値を創造する力
- 持続可能な社会に向かう実践力

要素	資質・能力	具体的な児童・生徒の姿
自主 自律 四 つの 要 素 の 創 造	学びに向かう力	意欲をもち、集中力や持続力を発揮して主体的に活動する
	問題発見・解決力	課題を見付け、解決に向けて自ら考え問題を解決する
	生活をよりよくなる力	自分の生活を工夫・改善して生活の向上を図る
	対人関係力	社会性をもって他者と関わる
	人間関係調整力	他者の個性を理解し、他者に働き掛けて人間関係を築く
	他者と協働する力	目標に向けて多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動する
	規範意識	社会のルールの大筋を理解し、自らを守る
	社会参画する力	社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会に働き掛ける
	グローバル化に対応する力	日本と外国の伝統や文化等を尊重し、社会づくりに貢献する
	生命を大切にする力	生命の尊厳に気付き、命あるものを尊重する
	新たな価値を創造する力	社会の各分野を牽引できる新たな価値を見いだすため創造的な活動をする
	持続可能な社会の実現に向けた実践力	環境・産業・経済等がバランスのとれた関係を維持するために必要なことを考え行動する

12の  
**資質・能力**

**具体的な  
 児童・生徒の姿**

# 資質・能力の設定と教育課題の整理

育成すべき資質・能力 題材とする 主な教育課題	自主・ 自律	人間 関係	社会 参画	未来の 創造
キャリア教育	○	○	○	
シティズンシップ教育	○	○	○	○
主権者教育	○		○	○
法教育	○		○	
租税教育	○		○	○
福祉教育	○		○	○
消費者教育	○	○	○	○
金融教育	○		○	
住教育	○		○	○
国際理解教育	○	○	○	
伝統・文化理解教育		○	○	
領土に関する教育		○	○	○
海洋教育	○		○	○
環境教育	○	○	○	○
持続可能な開発 のための教育	○	○	○	○
森林環境教育	○		○	○
原子力教育	○		○	○
エネルギー教育	○		○	○

カリキュラム市民

カリキュラム国際

カリキュラム環境

## 多様な教育課題

教育課題に関わる学習内容

児童・生徒に育成すべき  
資質・能力の設定

カリキュラム市民

カリキュラム国際

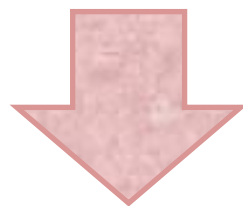
カリキュラム環境

自主  
自律

人間  
関係

社会  
参画

未来の  
創造



単元の指導計画 作成事例

多様な教育課題を意識した目標の設定

学習過程の設定

学習活動の設定

資質・能力に沿った評価規準の設定

# 「カリキュラム市民」 (小学校第5学年例)

学年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	3年	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>〈消費を通して自分を見つける〉●金融教育(金銭教育)●消費者教育●シティズンシップ教育</p> <p>【必修】○家庭「物や金銭の使い方と買物」(7) ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)</p> <p>【選択】★総合「私たちににかかるお金はいくら」(16)</p> </div>								[Blue bar]			
	4年									[Blue bar]			
	5年									[Blue bar]			
	6年	[Blue bar]		[Blue bar]						[Blue bar]			
	中学校	1年	[Blue bar]						[Blue bar]		[Blue bar]		
		2年	[Blue bar]						[Blue bar]				
3年		[Blue bar]		[Blue bar]				[Blue bar]					

●シティズンシップ教育  
「金銭の大切さや意義」  
「環境に配慮した消費」

●金融・金銭教育  
「健全な金銭感覚」

●消費者教育  
「持続可能な社会へ寄与  
する消費生活の実践」

〈主題〉

〈消費を通して自分を見つめる〉 ●金融教育（金銭教育） ●消費者教育 ●シティズンシップ教育

【必修】 ○家庭 「物や金銭の使い方と買物」 (7)

# 「カリキュラム市民」

## 題材とする主な教育課題

- キャリア教育 ●シチズンシップ教育
- 主権者教育 ●法教育 ●消費者教育
- 金融教育（金銭教育） ●租税教育
- 福祉教育 ●住教育 等

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小学校	3					
	4					
	5					
中学校	6					
	1					
	2					
3						

主観名 主題に関連する教育課題

**（中学生の役割と責任）** ●シチズンシップ教育 ●キャリア教育 ●金融教育  
 【説明】 ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)  
 ○特活「学級や学校の生活づくり」(1)  
**【選択】★総合「1年生に教えてあげよう」(10)**

**（中学校生活への希望）** ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●主権者教育 ●住教育  
 【説明】 ○体育（保健）「**健康の守り手**」(1)  
 ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2)  
 ○特活「健康で安全な生活態度の育成」(1)  
**【選択】★総合「中学校生活を体験しよう」(9)**

**（中学校の一員として求められること）** ●シチズンシップ教育 ●法教育  
 【説明】 ○保健体育「**勤労（アクトイブ）の心**」(1)  
 ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2)  
 ○特活「学級や学校の生活づくり」(1)  
**【選択】★総合「輝く中学生を目指して」(7)**

**【必修】各教科等において指導している教育課題に関連する内容**  
**【選択】★学校の特色化を図るために総合的な学習の時間で扱う内容**

**（消費者を通して自分の生きかたを考える）** ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●消費者教育 ●住教育 ●法教育  
 【説明】 ○技術・家庭「消費者の基本的な権利と責任」「家庭生活と消費」(7)  
 ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2)  
 ○特活「学ぶことと働くことの意味」「望ましい消費観・職業観の形成」(2)  
**【選択】★総合「自己表現を鍛えて」(20)**

**（社会参画に向けて）** ●消費者教育 ●シチズンシップ教育 ●主権者教育  
 【説明】 ○社会「**大正デモクラシーと教育内容の成文化**」(4)  
 ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2)  
 ○特活「安全な生活態度や習慣」(2)  
**【選択】★総合「もし学校が避難所になったら」(8)**

**（上級学校進路と進路選択）** ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●ICT教育  
 【説明】 ○道徳「道徳精神・公徳心」(1)  
 ○特活「進路選択の時機と進路情報の活用」(1)  
**【選択】★総合「自分に合った進路選択を目指して」(11)**

## 「カリキュラム市民」のねらい

- 市民・消費者の権利と役割について理解し、市民としての消費行動・キャリア形成ができる能力を育成する。
- 主権者として権利の享受や責任・義務の履行、公的な事柄への関心や関与をもち、社会参加に必要な知識・技能、態度を育成する。
- 自分の行動と社会経済との関連を認識し、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を育成する。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>（町のバリアフリーを考える）</b> ●福祉教育 ●シチズンシップ教育 ●ICT教育 【説明】 ○社会「働く人とわたしたちのくらし」(4) ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2) ○特活「望ましい人間関係の形成」(1) <b>【選択】★総合「みんなにやさしい町」(12)</b>					
<b>（働くことの意味や大切さ）</b> ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●主権者教育 【説明】 ○社会「町の安全を守るしごと」「特色ある地域と人々のくらし」他(5) ○道徳「勤労・公共の精神」「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(3) ○特活「希望や目標をもって生きる態度の形成」(1) <b>【選択】★総合「地域で働く人に学ぶ」(20)</b>					
<b>（消費者を通して自分の生きかた）</b> ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●消費者教育 ●住教育 ●法教育 【説明】 ○家庭「物や金銭の使い方と買物」(7) ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2) <b>【選択】★総合「私たちがにかかるとお金はいくら」(10)</b>			<b>（リーダーを考える）</b> ●シチズンシップ教育 ●キャリア教育 【説明】 ○道徳「規則の尊重」「勤労・公共の精神」「よりよい学校生活、集団生活の充実」(3) ○特活「希望や目標をもって生きる態度の育成」(1) 「健康で安全な生活態度の育成」(1) <b>【選択】★総合「級上級生になるには」(8)</b>		
<b>（よりよい地域住民の一員として）</b> ●シチズンシップ教育 ●消費者教育 ●住教育 ●法教育 【説明】 ○社会「 <b>私たちの誇りあるまちづくり</b> 」(1) ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2) ○特活「健康で安全な生活態度の育成」(1) <b>【選択】★総合「これからの自分のくらし」(13)</b>					
<b>（町のくらしよ）</b> ●シチズンシップ教育 ●消費者教育 ●住教育 ●法教育 ●ICT教育 【説明】 ○社会「新技術と新業への関心」「地域の発展に込められた思い」 「調査の活動を通じた地域の課題の発見」(3) ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2) <b>【選択】★総合「将来の町づくりのために」(10)</b>			<b>（将来の自分を見つける）</b> ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●ICT教育 【説明】 ○数学「コンピュータの活用」(1) ○技術・家庭「 <b>情報に関する技術</b> 」(5) ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2) ○特活「希望や目標をもって生きる態度の育成」(1) <b>【選択】★総合「10年後の私」(12)</b>		
<b>（消費者の権利と役割）</b> ●キャリア教育 ●シチズンシップ教育 ●消費者教育 ●住教育 ●法教育 【説明】 ○技術・家庭「家庭生活と消費」「家庭生活と消費」(4) ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2) ○特活「学級や学校の生活づくり」(1) <b>【選択】★総合「賢い消費者になろう」(9)</b>			<b>（社会参画の意義）</b> ●消費者教育 ●シチズンシップ教育 ●ICT教育 【説明】 ○国語「 <b>活かなる情報を得て、考えをまとめる</b> 」(3) ○理科「 <b>環境と健康</b> 」(5) ○美術「 <b>制作の喜び</b> 」(1) ○道徳「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(2) ○特活「社会の一員としての自覚と責任」(1) 「ボランティア活動の意義の理解と参加」(1) <b>【選択】★総合「ボランティアのすすめ」(20)</b>		
<b>（社会を形成する一員として）</b> ●シチズンシップ教育 ●キャリア教育 ●主権者教育 ●租税教育 【説明】 ○社会「 <b>私たちの生活と社会参画</b> 」「 <b>これからの日本の発展と挑戦</b> 」 「 <b>現代の生活実情</b> 」(4) ○公民としての「 <b>地方の発展</b> 」 ○道徳「勤労」「道徳精神・公徳心」「社会参画・公共の精神」(3) ○特活「望ましい勤労観・職業観の形成」「男女相互の理解と協力」(2) <b>【選択】★総合「20年後の私・未来の創造」(7)</b>					

※表中の教育課題で、●主権者教育と大きく示している所は、対応する下の「大正デモクラシーと教育内容の成文化」(4)の單元を、第2章「多様な教育課題に対応した【学校必修】として扱っている指導計画例」で取り上げている。  
 ※【必修】→【学校必修】、【選択】→【学校選択】、特活→特別活動、総合→総合的な学習の時間、を示している。

※それぞれの教育課題は、現在各教科等の学習内容を通して指導しており、その内容を上段の【必修】の枠に示した。  
 【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて指導できるように、単元の指導計画例(※)を示している。なお、本カリキュラムモデルでは、選取の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて、効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための(主題)を設けた。



# 「カリキュラム市民」

## 題材とする主な教育課題

- キャリア教育
- シティズンシップ教育
- 消費者教育
- 金融・金銭教育
- 租税教育
- 主権者教育
- 法教育
- など

学年		4月	5月	6月	7月	8月	9月
小学校	5	<b>&lt;主題&gt;</b>					
	6	<b>&lt;最上級生の役割と責任&gt;</b> ●シティズンシップ教育●キャリア教育●福祉教育 【必修】○体育「ボール運動(ルールやゲームの工夫)」(1) ○道徳「規則の尊重」「公正・公平・社会正義」(2) ○特活「学級や学校の生活づくり」(1) 【選択】★総合「1年生に教えてあげよう」(11)			<b>&lt;中学校生活への希望&gt;</b> ●キャリア教育●シティズンシップ教育●福祉教育●ICT活用 【必修】○体育(保健)「 <b>病気の予防</b> 」(8) ○道徳「希望・勇気・努力」(1) ○特活「希望や目標をもって生きる態度の育成」(1) 【選択】★総合「中学校生活を体験しよう」(9)		

## 焦点化

・各教科等での扱い方を明確にすることで、指導の重複が解消

## 特色化

・学校や地域の特色、児童や生徒の実態を踏まえたカリキュラムの選択